

平成15年10月23日

各位

会社名 荒川化学工業株式会社
本社所在地 大阪市中央区平野町1丁目3番7号
代表者名 取締役社長 末村 長弘
(コード番号 4968 東証第一部、大証第一部)
問合せ先 常務取締役経営企画室長 中尾 光良
TEL (06)6209-8500(代表)

高圧化学工業設備新設のお知らせ

荒川化学工業の100%出資の子会社である高圧化学工業株式会社は、電子材料用樹脂を中心とするファインケミカル事業の拡大に伴い、製造設備の新設を決定しましたのでお知らせいたします。

1. 経緯

荒川化学グループは、平成15年4月からスタートした中期5ヵ年経営計画において「新規事業の創生」を重要テーマのひとつとして掲げ、電子材料関連分野の強化を最重要課題として、これまで育ててきた新規分野の更なる発展と、将来の新たな展開を可能とする新規事業の創生に取り組んでおります。最近では、電子材料関連分野で当社より川下の領域に位置し、電子材料用樹脂フォーミュレーターとして豊富な経験と実績を持つ日本ペルノックス株式会社を子会社としてグループに加え、電子材料関連分野における顧客ニーズ把握と技術面での相乗効果を発揮させることで、その取り組みを強化しております。

また、ファインケミカル事業部(荒川化学)では、高圧化学工業と協力してファインケミカル事業の拡大に取り組んでおり、高圧化学工業の保有する高圧水素化技術とファインケミカル製造技術を生かして電子材料関連分野での事業育成にも力を注いでおります。そして、高選択性反応技術の開発や電子材料としての不純物(金属分など)を最少化する製造技術などで実績を上げております。

この度、電子材料関連分野における市場の急速な拡大が予想されたことと、今後のさらなる事業拡大を成し遂げるため、高圧化学工業における製造設備の新設を決定いたしました。

2. 設備計画

高圧化学工業の敷地内に新たに建屋を設け、電子材料用素材を中心としたファインケミカル製品の製造に好適なクリーン環境対応の設備を設置いたします。

投資金額 : 約3億円
生産能力 : 100トン/年
敷地面積 : 311m² (建屋217m²、付帯設備94m²)
建屋床面積 : 延べ434m² (1階、2階各217m²)
反応室清浄度 : クラス10万(0.5μ基準)
反応缶 : G L 製) 100L、200L、500L、1000L 各1基
 S U S 製) 300L 1基
完工日 : 平成16年4月

以上

[参考資料]

高压化学工業株式会社

所在地：大阪市大正区鶴町5丁目1番12号

URL：<http://www.koatsuchem.co.jp>

取締役社長： 蒔田 宗治

(兼 荒川化学工業株式会社 執行役員ファインケミカル事業部長)

会社設立： 1959年(昭和34年)3月

資本金： 60百万円

売上高： 1,089百万円(平成15年3月期)

主要株主： 荒川化学工業株式会社(100%)

従業員数： 44名

工場敷地： 9,250m²

製造品目： ファインケミカル製品(医薬品、香料、電子材料などの中間体)
フラン誘導体 その他の各種化合物

沿革： 1959年(昭和34年)3月 森田高压化学株式会社を設立。フラン誘導体
など、各種化合物の製造を開始。

1967年(昭和42年)8月 荒川化学工業株式会社の経営傘下に入る。

1978年(昭和53年)12月 高压化学工業株式会社に社名変更。

2000年(平成12年)9月 ISO9001認証取得。